

2020年3月4日

各 位

薬剤科

試用医薬品情報（2月）

2020年2月21日（金）に開催された薬事委員会の答申に基づき、下記医薬品の試用が病院長より許可されましたのでお知らせ致します。

- 1. 神経系及び感覚器官用医薬品
- 12. 末梢神経系用剤
- 123. 自律神経剤
- 1231. 四級アンモニウム塩製剤

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
ベタネコール塩化物 Bethanechol chloride  ベサコリン散 Besacolin 散：50mg/g 12.60/g (エーザイ)	(内) 1 日30 ～ 50mgを3 ～ 4回に分割	副交感神経亢進剤 【効能・効果】 ①消化管機能低下のみられる次記疾患：慢性胃炎，迷走神経切断後，手術後及び分娩後の腸管麻痺，麻痺性イレウス． ②手術後，分娩後及び神経因性膀胱などの低緊張性膀胱による排尿困難（尿閉） 【禁忌】 甲状腺機能亢進症，気管支喘息，消化管及び膀胱頸部に閉塞，消化性潰瘍，妊婦又は妊娠している可能性，冠動脈閉塞，強度の徐脈，てんかん，パーキンソン病 【重大な副作用】 コリン作動性クリーゼ 【生殖能・妊婦・授乳婦】 妊婦：投与禁止，安全性未確立
申請診療科：泌尿器科	申請者：座光寺 秀典	

試用情報はW S Sにも掲載されています。（添付ファイル参照）
また，上記以外の薬品情報につきましては電子カルテの薬品情報検索または最新の添付文書をご参照ください。

以上
連絡先：薬剤科DI室（内線4111）

2019年10月9日

各 位

薬剤科

試用医薬品情報（9月）

2019年9月20日（金）に開催された薬事委員会の答申に基づき、下記医薬品の試用が病院長より許可されましたのでお知らせ致します。

- 24. ホルモン剤（抗ホルモン剤を含む。）
- 247. 卵胞ホルモン及び黄体ホルモン剤
- 2477. プロゲステロン製剤

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
ヒドロキシプロゲステロンカプロン酸エステル Hydroxyprogesterone caproate ㊦ プロゲストンデポー筋注 Progoston 注：125mg-1mL/A 1A：125.00 ㊦ ㊦ （富士製薬） 【貯法】遮光 〔先発品〕プロゲデポー筋注125mg、 オオホルミンルテウムデポー筋注125mg	（筋）1週1回65～125mgを筋注	持続性黄体ホルモン製剤 【効能・効果】無月経、機能性子宮出血、黄体機能不全による不妊症、切迫流産、習慣性流産 【禁忌】重篤な肝障害・肝疾患、妊婦又は妊娠している可能性（流産の患者に投与する場合を除く）、妊娠ヘルペスの既往歴 【生殖能・妊婦・授乳婦】妊婦：投与禁止（流産の患者に投与する場合を除く）、安全性未確立
申請診療科：産婦人科	申請者：村松 俊成	

- 5. 生薬及び漢方処方にに基づく医薬品
- 52. 漢方製剤

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
人參養榮湯 人參養榮湯エキス顆粒 顆：3g/包 1包：61.80 （ツムラ） 【貯法】遮光 ツムラ／108 9.0g中、次記割合の乾燥エキス6.0g： ジオウ4 トウキ4 ビャクジュツ4 ブクリョウ4 ニンジン3 ケイヒ2.5 オンジ2 シャクヤク2 チンピ2 オウギ1.5 カンゾウ1 ゴミシ1	（内）1日9.0gを2～3回に分割し、食前又は食間	漢方製剤 【効能・効果】病後の体力低下、疲労倦怠、食欲不振、ねあせ、手足の冷え、貧血 【重大な副作用】偽アルドステロン症、ミオパチー、肝機能障害、黄疸 【妊婦・授乳婦】妊婦：有益性と危険性より判断、安全性未確立。
申請診療科：救急医学科	申請者：日上 滋雄	

試用情報はWS Sにも掲載されています。（添付ファイル参照）
また、上記以外の薬品情報につきましては電子カルテの薬品情報検索または最新の添付文書をご参照ください。
以上
連絡先：薬剤科DI室（内線4111）

各位

薬剤科

試用医薬品情報（7月）

2019年7月26日（金）に開催された薬事委員会の答申に基づき、下記医薬品の試用が病院長より許可されましたのでお知らせ致します。

1. 神経系及び感覚器官用医薬品

11. 中枢神経系用薬

113. 抗てんかん薬

1139. その他の抗てんかん薬

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
ラコサミド Lacosamide  ビムパット点滴静注 Vimpat 注：200mg-20mL 1V：4252.00 （第一三共）	（滴） ラコサミドの経口投与から本剤に切り替える場合： ラコサミド経口投与と同じ1日用量及び投与回数にて、1回量を30～60分かけて点滴静脈内投与。 ラコサミドの経口投与に先立ち本剤を投与する場合： 成人：1日100mgより開始し、1週間以上の間隔をあけて増量し、維持用量を1日200mg、1日2回に分割し、1回量を30～60分かけて点滴静脈内投与する。 小児：4歳以上の小児は1日2mg/kgより開始、1週間以上間隔をあけて1日用量として2mg/kgずつ増量し、維持用量を体重30kg未満では1日6mg/kg、体重30kg以上50kg未満では1日4mg/kg、1日2回に分割、1回量を30～60分かけて点滴静脈内投与する。体重50kg以上では、成人と同じ用法・用量を用いる。 いずれの場合においても、症状により適宜増減できるが、1日最高投与量及び増量方法は次記のとおり。 成人：1日最高投与量は400mgを超えないこととし、増量は1週間以上の間隔をあけて1日用量として100mg以下ずつ行う。 小児：4歳以上の小児のうち体重30kg未満では1日12mg/kg、体重30kg以上50kg未満では1日8mg/kgを超えないこととし、増量は1週間以上の間隔をあけて1日用量として2mg/kg以下ずつ行う。体重50kg以上では、成人と同じ1日最高投与量及び増量方法とすること。	抗てんかん剤 【効能・効果】 一時的に経口投与ができない患者の次記治療に対するラコサミド経口製剤の代替療法：てんかん患者の部分発作（二次性全般化発作を含む） 【禁忌】 本剤の成分に対し過敏症、重度の肝機能障害 【重大な副作用】 房室ブロック、徐脈、失神、TEN、Stevens-Johnson症候群、薬剤性過敏症候群、無顆粒球症 【妊婦・授乳婦】 妊婦：有益性と危険性より判断、安全性未確立。動物：胎仔移行性。 授乳婦：授乳禁止。動物：乳汁中へ移行
申請診療科：神経内科 脳神経外科	申請者：野川 茂 小田 真理	

試用情報はWS Sにも掲載されています。（添付ファイル参照）

また、上記以外の薬品情報につきましては電子カルテの薬品情報検索または最新の添付文書をご参照ください。

以上

連絡先：薬剤科DI室（内線4111）

各 位

薬剤科

試用医薬品情報（4月）

2019年4月26日（金）に開催された薬事委員会の答申に基づき、下記医薬品の試用が病院長より許可されましたのでお知らせ致します。

- 4. 組織細胞機能用医薬品
- 42. 腫瘍用薬
- 429. その他の腫瘍用薬
- 4291. その他の抗悪性腫瘍用剤

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
オビヌツズマブ（遺伝子組換え） Obinutuzumab（genetical recombination）  ガザイバ点滴静注 Gazyva 注：1000mg-40mL/V 1V：450,457.00 （中外） 【貯法】 遮光，2～8℃	（注） 1日1回1000mgを点滴静注。導入療法は、次記のサイクル期間及び投与サイクル数とし、1サイクル目は1，8，15日目，2サイクル目以降は1日目に投与。維持療法では、単独投与により2カ月に1回，最長2年間，投与を繰り返す。 シクロホスファミド水和物，ドキソルビシン塩酸塩，ビンクリスチン硫酸塩及びプレドニゾン又はメチルプレドニゾン併用の場合：3週間を1サイクルとし，8サイクル。シクロホスファミド水和物，ビンクリスチン硫酸塩及びプレドニゾン又はメチルプレドニゾン併用の場合：3週間を1サイクルとし，8サイクル。ベンダムスチン塩酸塩併用の場合：4週間を1サイクルとし，6サイクル 妊娠する可能性のある女性には，本剤投与中及び最終投与後一定期間は，適切な避妊法を用いるよう指導。動物で出生児でBリンパ球数の枯渇，ヒトIgGは胎盤関門を通過。授乳婦：授乳禁止。動物で乳汁への移行	抗悪性腫瘍剤・ヒト化抗CD20モノクローナル抗体 【効能・効果】 CD20陽性の濾胞性リンパ腫 【警告】 本剤を含むがん化学療法は，緊急時に十分に対応できる医療施設において，造血器悪性腫瘍の治療に対して，十分な知識・経験を持つ医師のもとで，本療法が適切と判断される症例についてのみ実施すること。適応患者の選択にあたっては，本剤及び各併用薬剤の添付文書を参照して十分注意すること。また，治療開始に先立ち，患者又はその家族に有効性及び危険性を十分に説明し，同意を得てから投与すること 【禁忌】 本剤の成分に対し過敏症 【重大な副作用】 Infusion reaction，腫瘍崩壊症候群，好中球減少，白血球減少，血小板減少，感染症，B型肝炎ウイルスによる劇症肝炎，肝炎の増悪，進行性多巣性白質脳症（PML），心障害，消化管穿孔，間質性肺疾患 【妊婦・授乳婦】 妊婦：有益性と危険性より判断，安全性未確立。
申請診療科：血液腫瘍内科	申請者：横山 健次	

上記以外の薬品情報につきましては電子カルテの薬品情報検索または最新の添付文書をご参照ください。

以上
連絡先：薬剤科DI室（内線4111）

2019年3月6日

各 位

薬剤科

試用医薬品情報（2月）

2019年2月22日（金）に開催された薬事委員会の答申に基づき、下記医薬品の試用が病院長より許可されましたのでお知らせ致します。

3. 代謝性医薬品

39. その他の代謝性医薬品

399. 他に分類されない代謝性医薬品

3999. 他に分類されないその他の代謝性医薬品

薬剤名・剤型・規格・薬価	用法・用量	効能・効果・備考
エボカルセト Evocalcet Ⓢ オルケディア錠 Orkedia 錠：1mg 1錠：280.70 Ⓢ (協和発酵キリン) オルケディア1/KH601 Ⓢ オルケディア錠 Orkedia 錠：2mg 1錠：412.10 (協和発酵キリン) オルケディア2/KH602	(内) 開始用量：1日1回1mg，1日1回2mg可．1日1回1～8mg．1日1回12mgまで	カルシウム受容体作動薬 【効能・効果】維持透析下の二次性副甲状腺機能亢進症 【禁忌】本剤の成分に対し過敏症，妊婦又は妊娠している可能性 【重大な副作用】低カルシウム血症，QT延長 【妊婦・授乳婦】妊婦：投与禁止，動物で胎盤通過性，死産仔率の高値，出生率の低値，出生仔の体重低値．授乳婦：授乳禁止，動物で乳汁移行

試用情報はWS Sにも掲載されています。（添付ファイル参照）

また，上記以外の薬品情報につきましては電子カルテの薬品情報検索または最新の添付文書をご参照ください。

以上
連絡先：薬剤科DI室（内線4111）